

台湾から八代への輸送日数が4日間に短縮されます ～半導体関連貨物の輸入強化へ～

愛媛オーシャン・ライン株式会社(本社:愛媛県松山市)では、令和5年8月26日より、台湾からの輸入促進を目的とした八代港への追加寄港の開始を発表されました。

これにより、台湾から八代への輸送日数は約10日間から4日間に大幅に短縮されることとなります。

本市としては、昨年度策定の「八代港を核とする将来的な成長ビジョン」に掲げる国際コンテナ航路の充実に向けて、「八代港コンテナ物流トライアル事業」等の各種支援策を拡充することで、台湾からの新規貨物獲得を目指します。

1. 背景

現在の八代港における台湾航路は、台湾からの輸送日数は約10日間を要していたため、今後増加が見込まれる台湾からの半導体関連貨物の輸入促進を図る上で航路の利便性向上が課題となっていた。

2. 経緯

本市では半導体関連貨物の八代港からの輸出入促進を目的とした八代港利活用促進等推進本部を令和3年12月に発足し、昨年度に策定した「八代港を核とする将来的な成長ビジョン」に基づき、台湾航路のサービス拡充に向けて船社への働きかけを行ってきたところであり、今般、就航船社である愛媛オーシャン・ライン(株)(以下、同社)より八代港追加寄港(ダブルコール)を決定されたもの。

3. 内容及び効果

同社が就航する日本から台湾行きの定期航路において、ルート中の八代港への寄港が追加されることにより、台湾からの輸入にかかる輸送日数が約10日から4日に短縮され、八代港の利便性が大きく向上する。

4. 運用開始日

令和5年8月27日(日) ※当該ルートの八代港初回寄港日

5. その他

定例会見終了後、愛媛オーシャン・ライン(株)と共同にて、本件に係る記者ブリーフィングを実施。

問合せ 商工・港湾振興課 担当:大江田、山下
TEL 0965-33-8777



八代港の台湾航路改編

八代港と台湾とを結ぶ航路が改編 台湾からの輸入が9日から4日に短縮！

愛媛オーシャンライン(株) (本社：愛媛県松山市) が運航する日本と台湾との定期航路において、八代港への追加寄港が決定。台湾との輸出入にかかる八代港の利便性が大きく向上することとなります。

